



小峰一允猊下
輿にお乗りになられた

去る十一月五日、汗ばむような秋晴れのもと、総本山智積院に於いて、真言宗智山派管長、総本山智積院化主第七十一世大僧正小峰一允猊下の、晋山式が厳粛に執り行われました。

当日、晋山式に先立ち午前九時より大書院に於いて、法流相承の儀が行われ、小峰猊下は前化主寺田信秀大僧正より猊座を受け継がれました。

宗派諸大徳、関係者ら約五百名が見守る中、傳燈奉告文が奉読されました。法要後、総本山智積院近くのハイアットリッジエンシー京都で行われた祝宴では、成田山・橋本照稔御貫首のご祝辞に続いて、當山大山貫首の声高らかな乾杯のご発声により、盛大に開催されました。



晋山式に列座された諸大徳の皆様



醍醐寺五重塔前にて大山御貫首と記念撮影

役員の皆様も、初めて醍醐寺と智積院を訪れた方が大勢おり、「改めて信仰を深める機会となった。」とお話されておりました。

二日目は、高尾山が属する真言宗智山派の総本山智積院を訪れ、大書院・宸殿・講堂等を拝観して、長谷川等伯一門の手による障壁画などを見学しました。その後、葉先が色付き始めた嵐山周辺を散策し、無事に帰山しました。

去る十月二十六日と二十七日の二日間、葉王院の総代・参与十三名と、大山御貫首、飯沢執事、その他随行四名の総勢十九名が、秋深まる京都へ研修に行つて参りました。

初日は古都・京都の文化財として、世界遺産に登録されている、真言宗醍醐派・総本山醍醐寺を訪れ、豊臣秀吉公ゆかりの庭園・書院・五重塔・金堂等を拝観しました。また、高尾山中興・俊源大徳は、永和年間（一三七五〜七八）に醍醐寺から入山されたと伝わっております。

大山御貫首と秋の京都を訪れる

真言宗智山派管長 総本山智積院化主 第七十二世 大僧正 小峰一允猊下 晋山式

役小角と修験道

法務課 五頭 覚玄

高尾山の一号路を歩き浄心門をくぐると、すぐ左手に神変堂があります。ここに祀られているのが役小角であります。

役小角とは、修験道の始祖として仮託された伝説上の人物であり、神変大菩薩や役行者とも呼ばれております。鎌倉時代修験道において、始祖を誰にするかが問題となっていました。そこで、名を上げられたのが、役小角であります。

たいと思います。

『続日本紀』は日本で公式に編纂された歴史書であり、役小角について記された最も古い文献です。

『続日本紀』は光仁天皇（在位七七〇〜七八〇）の勅命により、文武天皇から延暦十年（六九九〜七〇一）までの記録で延暦十六年（七九七）に完成しました。役小角について記録されてきた歴史書の中で、内容に関しては最も信頼性が高い書物とされます。

役小角に関する記録は『続日本紀』には以下のように記されており、後とされます。



神変堂に祀られる役小角

「役小角伊豆に流される。初め小角葛城山に住みて、呪術を以て称められる。外従五位下韓國連広足が師なりき、後にその能を書ひて、讒づるに妖惑を以てせり。故、遠き処に配さる。世相伝えて云はく、『小角能く鬼神を使役して、水を汲み薪を採らしむ。若し命を用いずは、呪を以て縛る。』」

現代訳では以下のようになります。

「役小角、伊豆大島に配流された。初め役小角は葛城山に住み、呪術をよく使うので有名であった。弟子であった外従五位下韓國連広足は役小角を師として仰いでいたが、後に師を妬み、妖術で人を惑わしている」と嘘の報告をした。そのため役小角は遠方の地に配流されたのである。世間では次のように伝わった。『役小角は鬼神を使役して、水を汲ませ薪を採らせたりし、もし鬼神が命令に従わなければ、呪術をもって束縛した』と。役小角とは、役行者の氏名であります。役は氏であり、君は公とも書いて姓であります。役小角は普通、「オズヌ」または、「オズノ」と呼ばれていますが、これが正しいとは言いがけず、「オスミ」または、「オスミ」とも呼ばれております。

また、役小角が住んでいた葛城山は、今の大阪府と奈良県にまたがる金剛・葛城山系のことです。

役小角を嘘の報告で陥れた韓國連広足は、韓國という氏から朝鮮から渡

来してきたと想像されやすいですが、本来は豪族である物部氏の系統で、物部韓國連広足とも書かれております。（帰化人という説もあり）先祖が朝鮮半島南部の三韓（馬韓・弁韓・辰韓）に使節として派遣され、功績があつた為に、韓國の姓を受け賜つたとされます。

つまり、『続日本紀』の記述を要約すれば、「役小角は葛城の地域に住み、呪術を用いて鬼神を使役し、その後、韓國連広足の嘘の報告により、民衆を惑わした罪で伊豆大島に遠流された」という事になります。

役小角に関する正史の記述は、これだけあります。したがって後に書かれる役小角の説話や伝記は、この『続日本紀』を基に書かれているので、次回以降、その後に書かれた伝記類から役小角と修験道にまつわる話を紹介していきたいと思